

1. 実況上の着目点

① 上層寒冷渦直下の低気圧がオホーツク海を北上し、四国の南の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっている。このため、北日本を中心に雪を伴って強い風が吹き、波が高くしけの所がある。北～東日本では、3時間で5cm前後の降雪を観測。

② 500hPa 5400m付近のトラフに対応した低気圧が中国東北区を東南東進。低気圧西側の華北を中心に衛星画像(ダスト画像)では黄砂が確認でき、対応する地域の地上観測では視程が5km未満の所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 15日は、1項②の低気圧が前線を伴い発達しながら東北北部を通過して三陸沖に進み、寒冷前線が北～西日本を通過する。その後16日は、北～東日本を中心に西高東低の気圧配置となり、1項②のトラフが北日本付近を通過して日本海は気圧の谷となるが、夜までに西日本付近で高気圧が顕在化する。低気圧や前線の影響で非常に強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。北～東日本では15日は、強風に注意・警戒。西日本では15日は、北～東日本では16日にかけて、強風や風雪、高波に注意。低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。850hPaの-6°C線は東北北部まで北上するため、低気圧や前線の近傍では雨の所が多いが、湿った雪となる所もある。西日本では15日は、北～東日本では16日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北日本では大雪や着雪に、北～西日本ではなだれに注意。北～東日本日本海側の地盤の緩んでいる地域では大雨による土砂災害に注意。

② 17日は、500hPa 5400m付近のトラフに対応する低気圧が、日本海を東進し、東北地方付近を通過して三陸沖に進む。また、500hPa 5160m付近のトラフに対応して、朝までに北海道の西に低気圧が発生する。これらの低気圧の影響で、やや強い風や強い風が吹き波の高くなる所がある。低気圧に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所や、雨や雪が強まる所もある。北～東日本では17日は、強風や風雪、高波、落雷、突風、降ひょう、地盤の緩んでいる地域では土砂災害に注意。北日本では17日は、大雪や着雪に注意。

③ 2項①の低気圧や前線の通過後は、西～東日本を中心に1項②の黄砂が飛来するおそれがある。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(06時からの24時間)：東北30、北海道20cm。③ 波浪(明日まで)：東北5、北海道・北陸4、関東・伊豆諸島・中国・九州北部3m。④ 高潮(明日まで)：北陸地方では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。